

夏季休暇期間中の口蹄疫等の家畜伝染病 の防疫対策を徹底しましょう！

本年7月、栃木県で国内83例目の豚熱(CSF)が発生しました。また、近隣諸国では口蹄疫(FMD)の発生が複数件報告されたほか、アフリカ豚熱(ASF)についてはヨーロッパ・アジア地域で発生が拡大しており観光地においても発生が確認されています。6月から入国制限の緩和がなされ、それに伴い外国人入国者数の増加が見込まれています。このことから人・モノの移動が増加することが予想され、国内へのウイルスの侵入リスクがますます高くなります。畜産関係者は本病発生地域への渡航は可能な限り自粛してください。

- ☑ 口蹄疫等の発生地域への渡航の自粛。
- ☑ 看板の設置等により、必要のない者が衛生管理区域や畜舎内に立ち入ること又は不要な物を持ち込むことがないようにする。
- ☑ 衛生管理区域もしくは畜舎に立ち入る場合には、手指や物の消毒、専用の靴の着用等をする。
- ☑ 病原体侵入の大きな原因となる野生動物の侵入防止対策を徹底する。
- ☑ 毎日必ず健康観察し、特定症状が見られた時は、ただちに獣医師や家保へ通報する。

飼養している家畜に異状が見られた場合には、直ちに獣医師、
または家畜保健衛生所にご連絡ください。

★むつ家畜保健衛生所

〒035-0072

むつ市金谷二丁目18-25

夜間及び休日の連絡先：090-5841-6810

電話：0175-22-1254

FAX：0175-22-1259

疑わしい症状は直ちに通報を

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。

写真出典：宮崎県

口蹄疫の症状



泡状のよだれ



口蓋のびらん

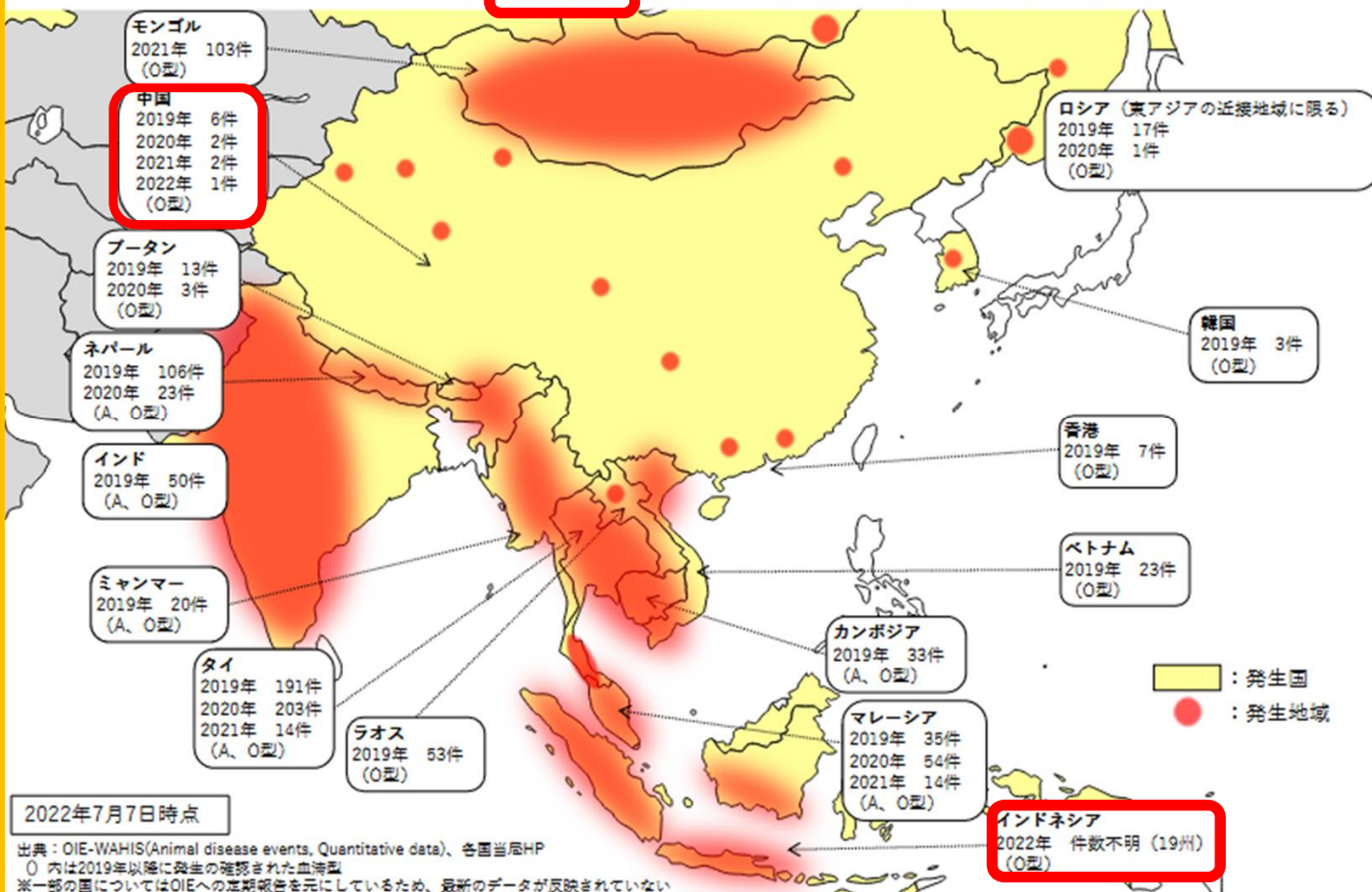


舌の水疱



乳房、乳頭の水疱

アジアにおける口蹄疫の発生状況（2019年以降）



出典：農林水産省HP